

ぼらんたす SNSについての 提案

インターンシップ Jグループ

五十嵐聡美

廣島翔

八幡理子

櫻井碧海

私たちのチームの課題

子ども食堂に関する情報を本当に必要としている人に届けるにはどうすればよいか？

ターゲット

- ・子ども食堂を利用したいと思っている家族や、
今現在妊娠している人 などの若い世代
→早急に情報は必要でないかもしれないが、将来、この情報を
事前に知っておくことで役立ててもらいたい。



提案内容1

新たなSNSの開始

新たなSNSを開始し情報伝達の範囲を広げるとともに、そのSNSの特徴を活かして、今までとは違う方法でアプローチを図ることで、より多くの人に情報を届けられるようにし、必要な人にも届くようにする。

①Instagramを始める

どのような情報を投稿していくか

- ・子ども食堂の開催日やイベント情報
- ・ストーリー機能でリアルタイムでの子ども食堂の様子
(参加者の顔が映らないように後ろ姿だけ等)
- ・貰い物や、提供してもらった方の紹介
(協力者の了承を得て)
- ・子ども食堂に参加しやすいように呼びかけ
- ・らくやの部屋の様子など
(事前に施設の情報を知ってもらい利用してもらいやすくなる)
- ・食前、食後の過ごし方の風景



この提案のメリット

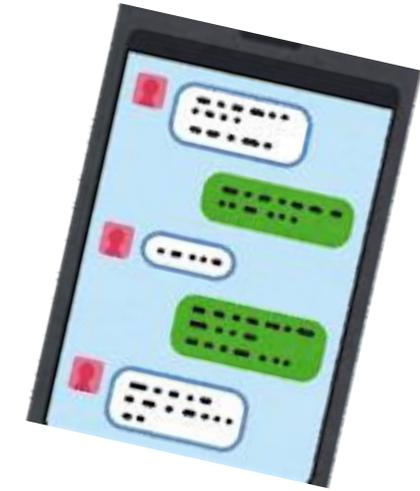
- ・ハッシュタグを用いて投稿し、それを検索してもらうことで、情報を求めている人が手短かに情報を入手することができる。
他の子ども食堂のInstagramを見ると、
#子育て支援 #みんなでごはん #ママ #子連れ
などがハッシュタグとして用いられていた。
- ・他のSNSと違ってストーリー機能を使うことでリアルタイムな情報を発信することができる。ストーリー機能は難しい作業を経ず簡単に更新できる。

ぼらんたす Instagramの改善点

- ・写真とともにハッシュタグだけではなく、文章も載せる。
(メニューについての解説など)
- ・子ども食堂のハッシュタグだけでなく、子育て支援などのハッシュタグをつける
(ハッシュタグは半角#の後に言葉を入力することでつけることができる)

②公式LINEを始める

どのような情報を発信していくか



- ・子ども食堂開催日近くに通知を送る
- ・写真を多めに載せる
(他のSNSと違ってLINEは写真の保存もしやすいため、気軽に載せることができる)
- ・調理方法など公式LINEでしか知ることのできないようなお得情報
- ・Instagram同様気軽に利用してもらえよう呼びかけをする

公式LINEのメリット

- ・普段からよく使うアプリなので比較的扱いやすい
- ・写真の添付が簡単にでき、文章と画像2つの送信が容易である
- ・他のSNSより画像として情報を送ることができる

提案内容2

情報発信ツールの充実化

現在はSNSを用いた情報発信が多くの人の中で主流となってきたおり、ぼらんたすさんでもTwitterをはじめとした各種SNSで情報を発信している。これらの媒体の充実化を図ることによりさらに情報を発信していけると考えた。

Twitter

- 動画をアップし、注目してもらうことでリツイートやいいねの数を増やし、拡散してもらいやすくする
- 投稿内容をブログ内容の共有ではなく、それ以外の情報も発信する
- 他の団体とやりとりをし、つながりを深める
- 背景を設定する
(月予定のカレンダーや、かわいいイラストなど)



Facebook

- 他の子ども食堂の例を参考にし、PR動画を製作しアップする
- 料理の写真、宣伝だけではなく活動風景の写真もアップする
- 背景になっている月の予定表を月ごとに更新し、いつでも最新の予定が一目見ればわかるようにする



公式ホームページ



- ページに載せられているカレンダーを活用し、子ども食堂開催などの予定を記載する
- 子ども食堂について詳しく説明する新たなページを作成する
- 事後報告だけでなく事前の宣伝の情報も掲載する
- 参加者の感想、どの地域から来たのかをおおまかに紹介する

出張こども食堂の提案

インターンシップグループ

五十嵐 聡美

廣島 翔

八幡 理子

櫻井 碧海



目次

1. 山形県のこども食堂について
2. こども食堂の事例
3. 提案内容



1. 山形県のこども食堂について

【県内のこども食堂の現状】

- ・ 現在県内には39か所のこども食堂がある（2019年12月現在）
- ・ 庄内地区は5か所で開催されている
- ・ 山形県子どもの居場所づくりネットワークがある
- ・ 山形県社協との連携（山形県こどもの居場所づくりサポートセンター）

1. 山形県のこども食堂について

【県内のこども食堂の課題】

- ・ 現在県内には39か所のこども食堂がある（2019年12月現在）
→ そのほとんどが村山地域で開催されている
- ・ 庄内地区は5か所で開催されている
→ 活動が限定的で、こども食堂が普及しているとはいえない



1. 山形県のこども食堂について

- 「山形県子どもの居場所づくりネットワーク」がある
- 山形県社協との連携（山形県こどもの居場所づくりサポートセンター）
- ネットワークは有効に機能しているのか（名前だけの連携になっていないか）

～山形県子どもの居場所ネットワークの主な活動内容～

- ・ネットワーク会議等における参加団体相互間の交流・情報交換
- ・ウェブサイト等による活動事例の紹介や広報など、子どもの居場所の普及・啓発
- ・子どもの居場所づくりに対する支援施策の提言等

→参加団体の交流、普及・啓発活動、提言等に活動がとどまっている
交流の場づくりはしているのだろうか？

1. 山形県のこども食堂について

【鶴岡市で開かれているこども食堂の概要】

「みんな食堂 の野」・・・出張こども食堂の開催を検討中
鶴岡市新海町 月2回 第2、第4水曜日

「料理教室×こども食堂 mokke's kitchen」
鶴岡中央公民館女性センター 毎月1回



→ 「みんな食堂 の野」さんと連携して出張こども食堂の運営は出来ないのか

2. こども食堂の事例

〈運営方法に関する事例〉

にいがたふじみ子ども食堂

—課題と解決方法—

- ◆こども食堂を本当に必要な人や家庭に利用してほしい
 - ・地域の小学校だよりに宣伝
 - ・周知の一環として、区だよりの掲載や区のイベントで出張こども食堂を開催している
 - ・区役所の子ども支援の担当者やワーカーが、何らかの支援が必要な子ども・若者を連れて参加している
 - ・保健師がこども食堂の参加者として、さりげなく母子の見守りをする場合もある

2. こども食堂の事例

〈運営方法に関する事例〉

にいがたふじみ子ども食堂

—課題と解決方法—

◆地域との連携

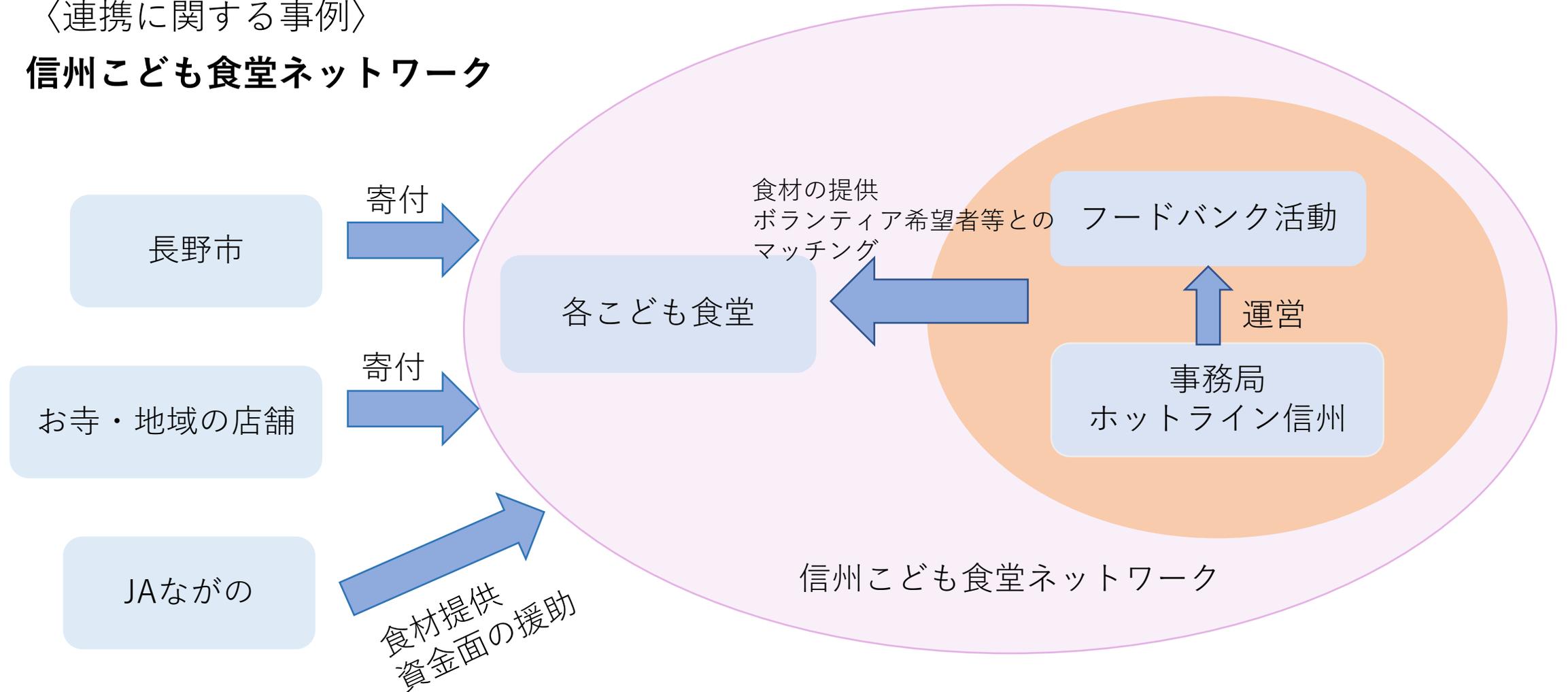
- ・ 運営開始に当たり、子ども食堂は貧困対策であるというイメージが、地域の理解を得るのに障壁となったが、社会福祉協議会の協力を得ながら、区役所、自治会、民生委員・児童委員、地域の学校等に活動の理念・目的等を含めて繰り返し説明を行い、心配される事柄を一つ一つ解決し、徐々に理解を得て開設することができた。
- ・ 説明を丁寧に行ったことを通じて、地域とのつながりができたことが、その後の運営において結果的に良い効果をもたらした。

→丁寧な説明と地域との合意が必要（コミセンの方だけでなく、地域の方への理解を促す）

2. こども食堂の事例

〈連携に関する事例〉

信州こども食堂ネットワーク



2. こども食堂の事例

〈連携に関する事例〉

信州こども食堂ネットワーク

—課題と解決方法—

◆来て欲しい人や家庭の参加

- ・「開かれた、多様性のあるこども食堂」をコンセプトにし、子どもだけでなく高齢者も含めて誰でも参加できるスタイルをとり、このスタイルを信州こども食堂ネットワークに参加しているこども食堂がすべて踏襲している

→ほかのこども食堂と連携する際は、コンセプトを統一しておくことでスムーズに進めることができる（出張こども食堂でも新しいコンセプトを作成したらどうだろうか）

2. こども食堂の事例

〈連携に関する事例〉

信州こども食堂ネットワーク

ー課題と解決方法ー

◆会場の確保

- ・フードバンクに寄付される支援物資が増えるにつれて、物資を保管するだけでなくニーズに応じて効率よく配布するための仕分けもできる保管場所の確保が課題
- フードバンク活動 でつながりのある地区農協（JA グリーンながの）に相談したところ、商業施設の跡地を安い借料で活用させてもらえることになった。
- ・夏休みに補習を行いたいと考えていた学校側と、長期休み中の子どもの居場所として食堂を開きたいという想いが合わさって「さんぼんやなぎ食堂あっとすくーる」という形になった。小学校と連携しての活動は初めてであり、課題を残しつつも、また来年もやってほしいとの声も多く聞かれた。

3. 提案内容

①長期目標

らくやこども食堂を知ってもらい、本当に必要な人に利用してもらう。



3. 提案内容

②短期目標

- ・出張こども食堂の企画・運営を通して、こども食堂について多くの人に知ってもらい、利用してもらう。
- ・こども食堂の運営に興味がある方々に体験してもらうことを通じて、運営のノウハウを伝え実際にこども食堂を開いてもらえるように支援する。

3. 提案内容

③ターゲット

こども食堂を必要とする子どもや家庭、開催場所の地域の方々

理由：1. 必要とする人々へ情報が上手く伝わらず利用できていない現状があり、地域の中にこども食堂を周知したいから。

2. 地元の方の協力を得ることも考えると、他の場所から来られる方よりかは顔なじみのある人たちの方が、参加しやすく、和やかな雰囲気になるのではないかと考えたから。

3. 提案内容

④課題点

- 鶴岡地域は広いのでこども食堂が普及していない。
- こども食堂のノウハウを様々な地域で広めていかなければ受け皿を増やすことが出来ない。
- こども食堂の運営に興味をもっている人はいるが、方法が分からず拡大していかない。
- 食品衛生上の問題をクリアしなければいけない。

3. 提案内容

④課題点

- 歩いていける距離にこども食堂がない。
- 他の団体や地域との連携が必要不可欠になるが、連携が難しい。
- 若い世代（これから子どもが生まれる世代）の認知が低い。



3. 提案内容

⑤解決方法

☆こども食堂のことを正しく認識してもらう

・どのようなことをするのか（注意：貧困の世帯が来る場所というイメージを植え付けるものではない。ぼらんたすさんのポリシーにそぐわない。また、逆にそこを仕切ってしまうと参加者が限られたり、参加している人＝「貧困世帯」と認識されてしまうリスクがある。）の理解を促す

→オンライン（ランチミーティング）、広報やSNSでプロモーション動画を配信する。

☆こども食堂の開催に興味がある人や団体等へのレクチャー

お試しのこども食堂を開催する。継続していくかは委ねることにする。

→オンラインなどでこども食堂のノウハウを伝える講座を開く。

3. 提案内容

⑤解決方法

☆食品衛生管理法を乗り越えるには...

もともとクリアしている地域の飲食店・コミュニティセンターを活用できないか。

→**地域の飲食店**や**コミュニティセンター**を活用すれば自転車や徒歩で来られる人が増える
また、場所に迷うことも少なくなる。

・**地域の飲食店**→参加の壁も低くなり、飲食店の方にも協力を仰げば良いメニューを作るヒントが得られるかもしれない。

・**コミュニティセンター**→キッチンがあらかじめ備え付けられていることはもちろんテーブルや椅子の備品などもあるため、ある程度の食事をする環境は整っている。

3. 提案内容

⑥企画内容 その1

企画名（仮）：出張〇〇こども食堂!!（〇〇には地域の名前や店名を入れる）

内容：こども食堂を**地域の飲食店**で行う

- 方法：1. こども食堂の開催に興味のある人を集めると同時に、飲食店の方にも声をかけ協力を募る。
2. こども食堂のノウハウをオンラインで伝える
3. 出店が決まり次第、地域の子どもたちに告知する
（SNSや学校だより、保育園だより、地域だより）

3. 提案内容

⑥企画内容 その1

4. 食料の調達をする（地域の方に食材の寄付を募る）食料調達が厳しい場合は持ち寄り？ 例）おにぎりを持参し、集まった材料で作れるものを作る
5. 集まった食料からメニューを考案する
6. 開催日に食事をふるまう



3. 提案内容

⑥企画内容 その2

企画名（仮）：出張〇〇こども食堂!!（〇〇には地域の名前や団体名を入れる）

内容：こども食堂を**コミュニティセンター**で行う

方法：1. コミュニティセンターの予約などをする。

2. こども食堂の開催に興味のある人を集めると同時に、協力を募る

3. 出店が決まり次第、地域の子どもたちに告知する
（SNSや学校だより、保育園だより、地域だより）

3. 提案内容

⑥企画内容 その2

4. 食料の調達をする（地域の方に食材の寄付を募る）食料調達が厳しい場合は持ち寄り？ 例）おにぎりを持参し、集まった材料で作れるものを作る
5. 集まった食料からメニューを考案する
6. 開催日に食事をふるまう



3. 提案内容

⑦ メリットとデメリット 〈メリット〉

- ・ こども食堂の認知度を上げられる = こども食堂の普及につながる
- ・ 地域の活性化
- ・ ぼらんたすさんが大切にしている「生きた」ネットワークが広がる
- ・ お試し開催をすることでこども食堂の運営を考えている団体のこども食堂への不安が減る
- ・ 公民館やコミュニティセンター、飲食店で行うことで、子ども食堂を地域の方に知ってもらうきっかけになる。



3. 提案内容

〈デメリット〉

- ・ 宣伝が大変
- ・ 地域の飲食店の賛同を得られるかわからない
- ・ 地域と連携できるのか
- ・ 地域にニーズはあるのか
- ・ らくやこども食堂で受け入れられる数を超える場合がある
- ・ 今のご時世では出張こども食堂への協力を得ることは難しいかもしれない

参考文献

農林水産省HP

「子供食堂と地域が連携して進める 食育活動事例集」

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/set00zentai.pdf> (2020年9月19日アクセス)

にいがたふじみ子ども食堂

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/fumiji.pdf> (2020年9月19日アクセス)

山形県社会福祉協議会HP

「山形県こどもの居場所づくりハンドブック」

<https://www.ymgt-shakyo.or.jp/img/pdf/kidshandbook2019.pdf> (2020年9月20日アクセス)

山形県社会福祉協議会HP

「山形県こどもの居場所づくりネットワーク」

<https://www.ymgt-shakyo.or.jp/img/pdf/2020/sankadantai2020.9.15.pdf> (2020年9月20日アクセス)

参考文献

農林水産省HP

「信州子ども食堂ネットワーク」

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/shinshu.pdf> (2020年9月20日アクセス)